



3年生の皆さん、共通テストまで1ヶ月を切りました。自分がこれまでやってきたことを信じて、この冬休みも力を伸ばし続けてください。1、2年生の皆さんは、12月15日（月）に「学問発見講座」を受講しましたね。大学で行われる学問について興味を広げたり深めたりすることはできましたか？各自が1年後、2年後の自分、ひいては、大人になった自分の姿を想像しながら、この冬休みを有効に活用しましょう。

★補習は何のため？

冬休みには補習を実施します。夏休みの補習後、全校生徒を対象にアンケートを実施しましたが、その回答から「長期休業中なのに学校に行かなければならない」こと自体に疑問を感じている人がいることが分かりました（回答結果のまとめは、右のQRコードから読み取ることができます。興味があったら覗いてみてください）。全校生徒のほとんどが大学進学を目指す金津高校において、長期休業中の補習にはどのような意義や目的があるのでしょうか。先生達の考えを以下に示します。

1. 大学入試につながる学びを確実に積み重ねるため

大学入試で問われる内容は、基本的に「高校3年間の教科書の内容」です。つまり、今の授業や補習で扱う内容こそ、入試に直結しています。長期休暇の補習は、受験科目となる教科の進度と質を確保し、受験で戦える土台を早い段階からつくる大切な機会です。

2. 学習習慣や生活リズムを保つため

夏休みや冬休みは、普段より自由な時間が増える一方で、学習リズムが乱れたり、勉強への意欲が下がったりしやすい時期でもあります。補習は、こうした期間も学びの時間をしっかり確保し、3年間で必要な学習量を積み重ねるためのものです。

3. 集中できる環境を確保するため

家庭では集中しにくい場合でも、学校に来れば、静かで落ち着いて学べる環境があります。クラスメイトと教え合ったり、励まし合ったりした方がやる気が出るという人も多いと思います。補習は、皆さんがより良い環境で互いに刺激を掛け合いながら、学習に取り組める場所としての意味も持っています。

4. 相談しやすい環境を保つため

休み期間はクラスメイトや先生と会う機会が減る分、悩みや不安を抱え込みやすくなります。補習に参加していれば、ちょっとした疑問や進路の相談も気軽にできます。補習は、休み中も学習・生活・進路のサポートを継続して受けられる機会にもなっています。

【夏期補習についてのアンケート結果はこちら】



1, 3 年生



2 年生

- * 夏休みの補習は50分×4コマの日程で、空き時間を作って実施しました。これは、公欠の生徒と出張の先生が多い期間であったことが関係していました。冬休みは、公欠や先生方の出張が非常に少ない期間であるため、昨年度同様に60分×3コマで実施します。普段の授業より1コマ当たりの時間が10分長くなる分、演習の時間を増やすことができます。
- * 夏休みの補習では、各クラス1時間目がない日があったためSHを実施しませんでした。アンケート結果から、生徒の皆さんの大半は「SHがなくても支障ない」と考えていることが分かりました。しかし、先生達が「万一の事故等で登校していない生徒がいいるかどうか」を把握するため、冬の補習では朝のSHを実施します。

○ まとめ

補習は“休みを削るもの”ではなく、皆さんの未来の選択肢を広げるためのサポートです。高校3年間の学びはすべて進路につながっていますが、長期休暇も自分の力を着実に伸ばすチャンスとして、ぜひ前向きに活用してください。

ただ、上記は先生達の考えです。進路志望を実現するのは皆さん自身ですから、先生達の考えを参考に、皆さんも補習の意義や目的について考えてみてください。

